



第11回

未来・連福チャリティーコンサート

平成29年5月7日(日)

開場12:30 開演13:00 (終演予定16時)

「竹のかがやき」 in 円覚寺

福島県双葉郡葛尾村、川内村の皆さんを7月に鎌倉へご招待します

東京電力福島第一原発の事故により故郷の美しい大地を奪われ、津波等の被害により多くの犠牲者を出し、今なお苦しむ福島の皆様方の「心の復興支援」を掲げて活動を続けております。この支援活動は未永く続ける必要があると考えております。

どうぞ、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

未来・連福プロジェクト鎌倉 代表 齊藤美代子

第1部：大本山円覚寺管長

横田南嶺 老師による講話

仏教詩人と呼ばれる坂村真民氏や書家として知られる相田みつを氏の詩や言葉は、東日本大震災の後に、見直されるようになっていきました。真民氏や相田みつを氏の言葉を紹介しながら、震災後私達はどうか生きてらいいのか、その手がかりを学んでみます。



第2部：チャリティーコンサート「竹のかがやき」 in 円覚寺



十二世 都一中
(みやこいちちゅう)
一中節 宗家



七代目 福原百之助
(ふくはらひやくのすけ)
福原流 家元



都了中
(みやこりょうちゅう)
一中節 浄瑠璃方



福原道子
(ふくはらみちこ)
福原流 笛方



坂麗水
(ばんれいすい)
薩摩琵琶奏者

会場／臨濟宗大本山 円覚寺 (大方丈)

鎌倉市山ノ内 409 (JR 横須賀線「北鎌倉駅」下車徒歩1分)

チケット／前売券3,000円 当日券3,500円

※別途拝観料が必要です (鎌倉市内在住の方で福寿手帳をお持ちの方は拝観料無料)

主催：未来・連福プロジェクト

協力：臨濟宗大本山 円覚寺

お申込：090-3689-8011(齊藤)

※チケットは円覚寺受付でも販売しております

十二世 都一中(みやこ いっちゅう) 一中節 宗家

1952年東京生まれ。3歳の頃より父初世常磐津文字蔵について常磐津を学ぶ。東京芸術大学音楽学部を中退し、音楽学を小泉文夫に師事。一中節を十一世都一中に師事。81年、2世常磐津文字蔵襲名。86年、歌舞伎座の常磐津節立三味線(主席奏者)に昇格。87年、中村雀右衛門の会にて一中節「小春髪結之段」の立三味線を勤める。91年、十二世都一中を襲名し一中節宗家継承。重要無形文化財一中節及び常磐津節(総合認定)保持者認定。日本藝術院賞、国立劇場清栄賞、文化庁芸術作品賞受賞。都一中音楽文化研究所理事長として、現代の最先端の感性の要求に答える演奏活動を国内外で展開。未来へ向かっての日本の音楽芸術の進むべき道を追求している。



七代目 福原百之助(ふくはら ひゃくのすけ) 福原流 家元

1975年常磐津文字蔵(一中節家元、都一中)の長男として東京に生まれる。91年、祖父である福原流囃子方、四世寶山左衛門(六代目福原百之助)に師事。同年、望月太喜雄に師事。長唄を東音浅見文子に師事。93年、福原流笛方、福原徹に師事。94年、NHK学園高等学校を卒業。以後、福原流囃子方、福原賢太郎として演奏活動を行う。2006年11月、邦楽囃子福原流福原百之助派家元七代目福原百之助を襲名。邦楽演奏会・日本舞踊会の他にもワークショップやレクチャーコンサートなどの企画や公演を行い、日本の伝統芸能である邦楽の普及に努めている。また、アメリカをはじめ、上海、ドイツ、オーストリアなど、海外での公演にも多数参加している。社団法人長唄協会会員。邦楽囃子「若獅子会」同人。



都了中(みやこ りょうちゅう) 一中節 浄瑠璃方

1980年生まれ。幼少の頃より、日本の伝統音楽である一中節を、父、及び先代都一中について稽古を始め。97年、都了中の名を許される。声楽を芹沢文子、長唄を芳村金秀に師事。2002年、福井県武生国際音楽祭に招待をされる。06年9月～07年3月、ACC(Asian Cultural Council)のフェローシッププログラムにてニューヨークに滞在し研修を行う。07年、東邦音楽大学エクステンションセンターにて「浄瑠璃基礎講座」を受け持つ。09年より定期的に自身の演奏会「都了中の会」を主催。15年、国立劇場主催「明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会」出演。演奏会・舞踊会に於いて浄瑠璃方を務め、海外(ベルリン・ニューヨーク・サンクトペテルブルク・上海など)での公演にも多数出演。演奏活動の他、講演、浄瑠璃指導、その他 スタジオジブリ映画「千と千尋の神隠し」イメージアルバム(CD)に、歌で参加など幅広い活動を精力的に行っている。



CD「RYOCHU」〔2011〕

福原道子(ふくはら みちこ) 福原流 笛方

六代目福原百之助(人間国宝 寶山左衛門)の次女として東京に生まれる。19歳より父に篠笛と能管を師事。東京芸術大学邦楽科卒。芸大在学中、能管を一噌流 藤田大五郎師に師事。2000年、2001年福井県武生国際音楽祭に招待される。レクチャーコンサート。伊勢神宮、京都醍醐寺、熱田神宮、奈良三輪明神での奉納演奏など国内での活動の他、オーストリア、ロシア、オランダ、アメリカ、上海など海外での演奏活動も多い。2002年、パリ・サンロック教会で収録したCDをリリース。2003年、国立小劇場にて初のリサイタルを開催する。



坂麗水(ばん れいすい) 薩摩琵琶奏者

鎌倉に生まれる。薩摩琵琶錦心流中谷派裏水会主、荒川姿水氏に師事。日本琵琶コンクール秀位入賞。鎌倉の能舞台始め国内での演奏活動はもとより、米国・フランス等海外にて活躍。梅津美葉(バイオリニスト)や、宇治田かおる(ピアニスト)との共演。アリソン・ブラウン(米国グラミー賞受賞歌手、バンジョー奏者)とのコラボレーションや林隆三の朗読と坂麗水の琵琶の世界など、邦楽のみならず西洋楽器や他のジャンルとの共演を積極的に行っている。



<福島県双葉郡教育復興推進事務局の荒木様よりメッセージをいただきました!>

東日本大震災、原発避難から6年。未だ避難生活を余儀なくされ、風評被害、いじめの問題等、解決していないことがたくさんあります。また、私たち双葉郡はたくさんの支援を受けてきましたが、月日は流れ震災のことが風化し、少しずつ支援も減っていきました。その中で震災以来、未来連福プロジェクトの皆様、鎌倉市民の皆様からは温かい支援をずっと続けて頂いております。心より感謝申し上げます。我々も支援にお応えできるよう、復興、特に双葉郡の教育という未来ある子どもたちのために、全力で取り組んでまいります。そしてこれからも鎌倉の皆様と繋がっていき、一緒に歩んでいければと思います。宜しくお願い申し上げます。

福島県双葉郡教育復興ビジョン推進事務局 荒木信彦